



モグ博士、北山A遺跡って今から1300年くらい前の飛鳥～奈良時代の集落だったんですね？

うむ、そうじゃよ。この時代の竪穴住居や掘立柱建物は、西隣りの中野山遺跡にも広がっておるから、合わせてひとつの集落だった可能性もあるのう。

ただし中野山遺跡では縄文時代や弥生時代、古墳時代の遺構も出てきておるが、北山A遺跡はほぼ飛鳥～奈良時代に限られておるのう。



うわあ、それにしても竪穴住居や掘立柱建物がたくさん見つかりましたねえ。

これまでの調査で、竪穴住居が34棟、掘立柱建物が13棟見つかっておるぞ。竪穴住居のそばには、土器の破片が入った大きな穴もあるのう。注目すべきは、掘立柱建物が集中して立てられた場所があることじゃ。竪穴住居と掘立柱建物では、作られた時期や住んでいた人々の種類がちがったのかもしれない。



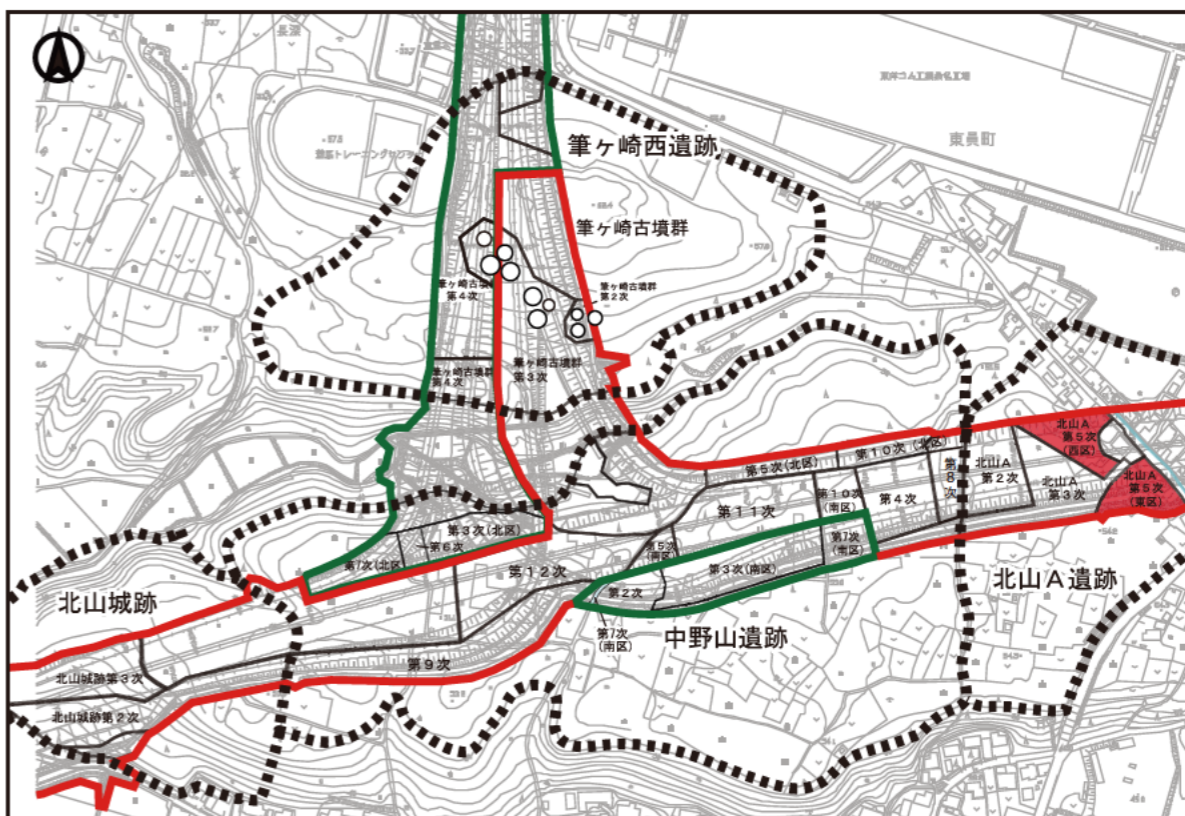
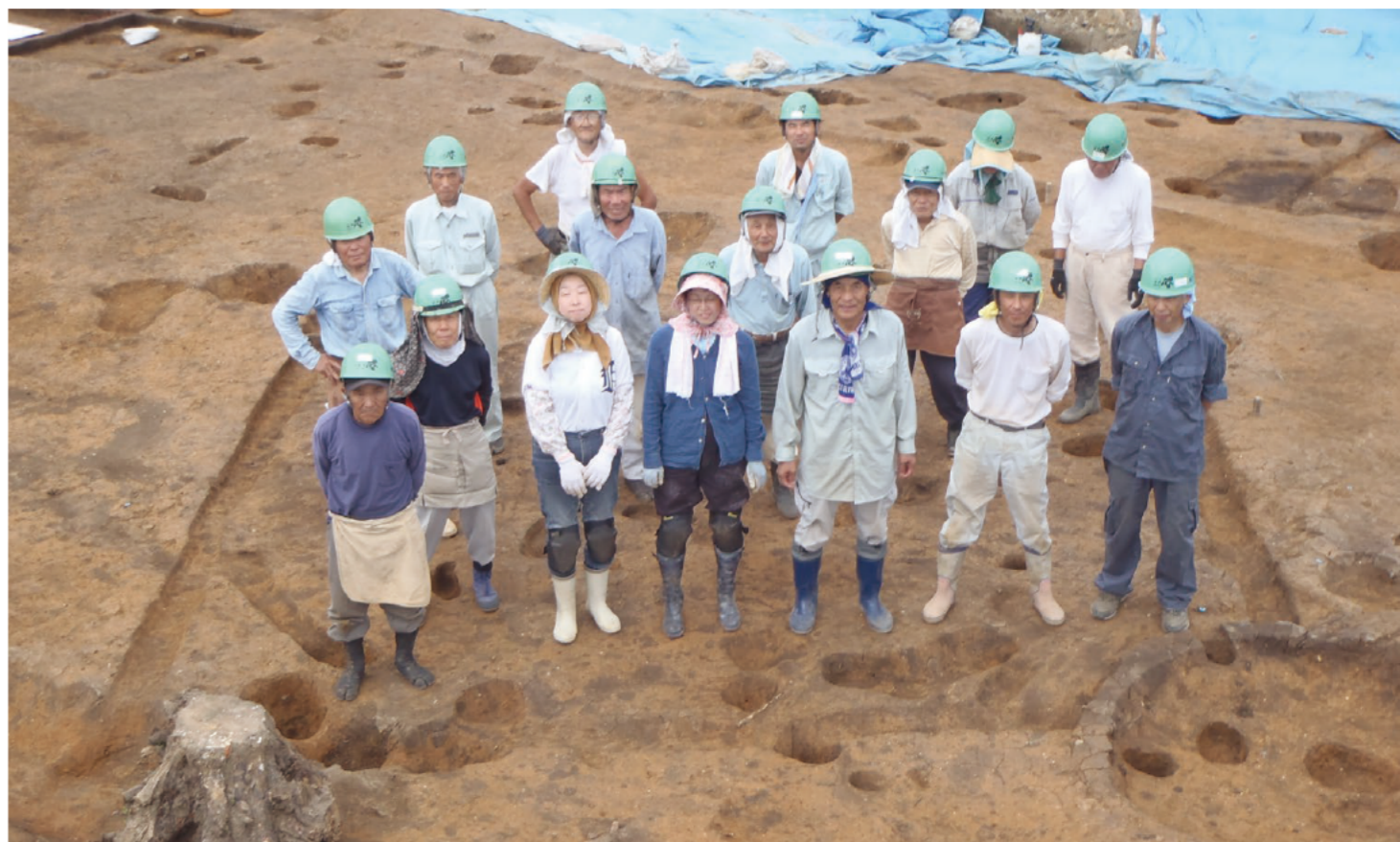
北山A遺跡第5次発掘調査 現地説明会資料 (新名神高速道路発掘調査ニュース「新あさけのいにしへ No.15」)  
 三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503  
 TEL:0596-52-1732 / FAX:0596-52-7035 <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/maibun/>  
 四日市整理所 〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1  
 TEL:059-363-3195 / FAX:059-363-3196  
 2013年10月5日

新名神高速道路建設事業に伴う

# きたやま 北山A遺跡 (第5次) 発掘調査

## 現地説明会資料

2013年10月5日  
 三重県埋蔵文化財センター



3年目を迎えた北山A遺跡の発掘調査。今年行っている第5次調査の成果を紹介します！





# きたやま 北山A遺跡

北山A遺跡は、員弁川と朝明川に挟まれた丘陵の上に位置しています。すぐ西隣には中野山遺跡が広がっています。今年度の第5次調査では、西区と東区あわせて4,800㎡を発掘しています。

すでに調査が終了した西区では、竪穴住居6棟、掘立柱建物3棟、大きな穴（土坑）、溝、小さな穴（ピット）などを確認しています。現在調査を進めている東区では、今のところ竪穴住居6棟、掘立柱建物1棟が出てきました。

西区・東区ともに、竪穴住居や大きな穴からは、飛鳥～奈良時代（今から1,400～1,300年ほど前）の土器が出てきました。

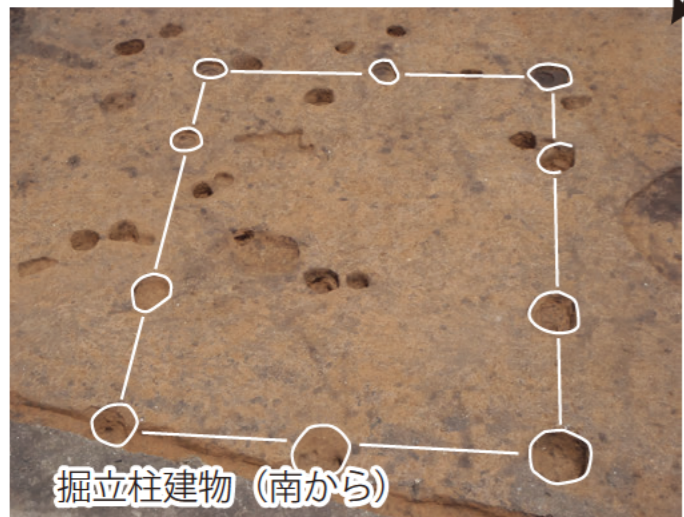
北山A遺跡（第5次）西区

竪穴住居のしくみ



竪穴住居（西から）

掘立柱建物のしくみ



掘立柱建物（南から）



掘立柱建物（南東から）



カマド付近からたくさんの土器が！



竪穴住居（西から）

現代の大きな溝

入口

0 20m

おもな遺構の時代と種類

古代 (飛鳥～ 奈良時代)	竪穴住居	
	掘立柱建物	
	大きな穴	

北山A遺跡（第5次）東区

10月以降に調査予定

中野山遺跡